

## 平成25年度 入学式

## ご入学おめでとうございます

平成25年4月2日(火)、入学式が挙行されました。湘南短期大学歯科衛生学科、看護学科はこの4月から神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生学科、看護学科となり、神奈川歯科大学歯学部とあわせ学校名もKanagawa Dental CollegeからKanagawa Dental Universityに改称されました。今年新しい名称になって初めての入学式で神奈川歯科大学として総勢約260名の新入生を迎えました。保護者の方々の出席も多く、本学に対する期待が伝わってきました。本学は今年で創立103年となり、式典開始前にその

歴史がスライドで紹介されました。そして、バイオリン松井利世子様、ピアノ山田英代様、チェロ灘尾彩様によるヘンデル、メンデルスゾーンらの作品が歓迎演奏として披露されました。松井様から「一人一人が使命を持って将来につなげてほしい」との挨拶がありました。

休憩を挟み開式され、新しい校章と国旗が掲揚されるなか国歌斉唱の後、学長式辞では、「皆さんはこれからそれぞれの学部学科の学位プログラムに沿って高度専門職業人を目指して学業を開始します。高校までの勉強と違い、大学における勉強は

「学ぶ習う」という学習ではなく「学ぶ修める」と書く学修になります。すなわち、自ら自主的に勉学に励み結果を出すということが求められます。結果の出ない学修は認められません。とくに医療系の職業人になるためには国家試験に合格するという目標があります。着実な学修を積み重ねるよう努力してください。」等、いままでの学習から大学での学修、人間性の重要性、伸びるための101%の努力についてわかりやすく解説され本学学生として学ぶ姿勢を述べられました。続いて理事長告示では「専門知識を学ぶこと以外にも思考能力、直感力、想像力、決断力、ひらめきをもち、

物事の本質をみる思考力が大切」と話されました。ご来賓の、衆議院議員 小泉進次郎先生は、「政治と医療の共通点として人間性が重要であること、また、自分が休んでいる時は、休んでない人に抜かれるとして、学ぶ姿勢」を示されました。

新入生は将来の臨床家を夢見ながら熱心に聞き入っていました。ご来賓の先生方の紹介に続き、祝電が披露されました。新入生代表から、学則を守り、大学の名誉を毀損せず、後進の模範となるよう自覚を持ち、学業に専念する旨宣誓がありました。最後に神奈川歯科大学校歌が斉唱され約1時間半の式典が無事に終了しました。



佐藤貞雄学長



小泉進次郎衆議院議員



左から松井利世子氏、山田英代氏、灘尾彩氏



# 平成24年度 卒業式

## 神奈川歯科大学

平成25年3月18日(月)10時より第44回神奈川歯科大学卒業式が執り行われました。

当日は神奈川歯科大学91名の卒業生が保護者関係者とともに式場である大講堂に集まりました。

佐藤学長からは「卒業、そしてこれからが本番、組織の中で

は努力しても成果が得られないというのが最悪です。壁に突き当たったらそれまでのやり方あるいは考え方を考えるということが大切です。奮闘を祈ります。」との祝辞がありました。

また、横須賀市吉田雄人市長代理副市長沼田芳明様、神奈川県歯科医師会会長高橋紀樹様、横須賀市歯科医師会会長佐久間

博一様にお越しいただき心温まる祝辞をいただきました。その他、横須賀警察署署長松川敬様、一般財団法人シティサポートよこすか代表理事鈴木正様、横須賀商工会議所木村忠昭会頭代理事務局長菊池匡文様、神奈川歯科大学同窓会会長大館満様、湘南短期大学同窓会会長名取すみこ様にお越しいただきました。



### 【各賞受賞者(卒業生)】

学士試験優秀者 第1位 山田峻太郎、第2位 佐藤生野、第3位 薄井崇、

一般成績優秀者 第1位 山田峻太郎、第2位 藤巻龍治、第3位 沼田彩佳

ノーベル・バイオケア・アワード(補綴)丸山達也 (保存)長谷川拓哉 (口外)荒井佑輔

デンツブライ・スチューデント・アワード(補綴)関谷紗世

(保存)山田峻太郎  
パナソニック・ヘルスケア・アワード(歯科優秀者)東ゆりあ  
ウィップミックス(ハノー)賞(補綴)北條彩和子



学士試験優秀者



一般成績優秀者



ノーベル・バイオケア・アワード



デンツブライ・スチューデント・アワード



パナソニック・ヘルスケア・アワード



ウィップミックス(ハノー)賞

## 神奈川歯科大学大学院

平成25年3月18日(月)14時より本部棟5階会議室にて平成24年度大学院歯学研究科学学位授与式が執り行われました。式では、佐藤学長より一人一人に学位記が手渡されました。式後、お世話になった先生方やご家族等と記念撮影を行い和やかな雰囲気でした。李研究科長より

「今回学位を授与されました全ての先生方とご親族、ご両親の皆様方、本当におめでとうございます。これまで本大学院における改革を進めてまいりまして改めて思いますのは学位に対する考え方がいまだ、日本の歯科医療界では認識が薄い気がいたします。政治の世界ではTPP参加などのグローバルな政治判断をし

ているのに、TPPが実現した後の歯科医療の現場で「グローバルな歯科医療実践のための切符」となる可能性の高い学位(ph.D.)に対する認識を強くすることで、今後のリーダー育成を今進めるべきだと思うからです。本日、学位授与された先生方のさらなる飛躍とグローバルな活躍を楽しみにしております。さらなるキャ

リアップの旅たちへ、前途洋々たることをお祈り申し上げます。」  
学位授与者15名:【甲8名】鳥崎盾詩、飯塚純子、岩崎和人、高橋弘行、東雅啓、何大唯、三宅香、徳富文彬  
【乙7名】王明鋒、Helder José Nunes da Costa, Gerd Reichardt, 岡田永三、大石俊一、岡田康江、澤悦夫



## 湘南短期大学

平成24年度湘南短期大学卒業式が平成25年3月15日(金)10時から行われました。

当日は、好天に恵まれ、袴を身にまとった歯科衛生学科65名、看護学科84名が式に参列し、約250名の保護者の方々にもお越しいただきました。

式は学位記授与として卒業生全員の名前が読みあげられ、成績優秀の表彰では各学科の成績優秀者が佐藤学長から表彰状が授与されました。

式辞として佐藤学長からは「卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。現在の医療分野は超高齢社会を迎え多くの難題を抱えています。しかしこれは、難しいけれどもやりがいのある仕事が沢山あるということでもあります。このことに喜

びを感じて与えられた課題に果敢に挑戦して頂きたいと思ます。」との話がありました。

式の終了後には卒業記念撮影を行い、教室にて一人一人にお世話になった先生方から学位記を受け取りました。

今回で、湘南短期大学としての卒業式は最後となります。平成25年度からは、神奈川歯科大学短期大学部と名称を変更し新たなスタートをします。

### 【成績優秀者】

#### 歯科衛生学科

前田百合香、原久美子、吉岡茜、田中梢

#### 看護学科

岡野恵美、鈴木菜見、篠崎実由起、佐藤雅美、下山博美



## 松本剛一准教授(横浜クリニック歯科口腔外科)らのウイルス多角体を用いた骨再生研究がNatureグループの“Scientific Reports”誌に掲載

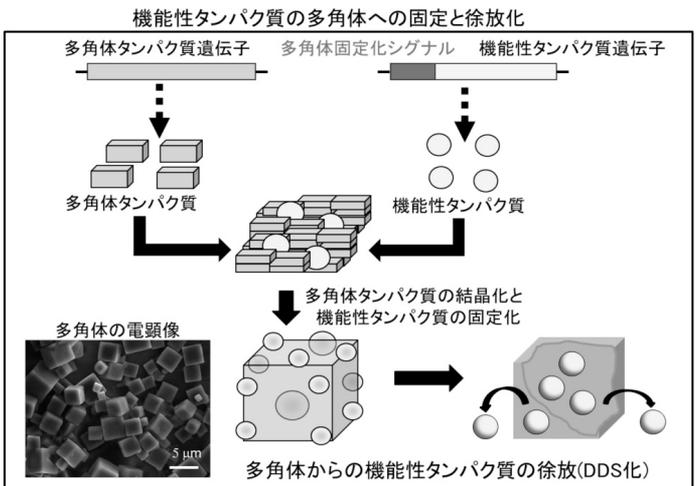
カイコウイルスに由来する多角体微小結晶を用いた骨再生の報告が、平成25年12月6日付けで英文科学誌「Scientific Reports」に掲載されました。論文の概要は、カイコの収繭量の大幅な低下を引き起こす主要な病原体の1つであるカイコ(Bombyx mori)サイボウイルスは多角体と呼ばれるマイクロメートルサイズのタンパク質結晶を自ら産生して自身を包埋することで、長期間の過酷な自然環境条件でも感染性を保つことが出来ます。研究チームはこの多角体のもつ顕著な安定性は、組織工学のためのサイトカイン徐放剤の担体に応用できると考えました。論文では、多角体に包埋した bone morphogenetic protein-2 (BMP-2) によって、

自然治癒不可能な大きさの骨欠損を完全に治癒できることを示していることから、今後、BMP-2包埋多角体微結晶は骨再生治療の効果を高めるものと期待されます。

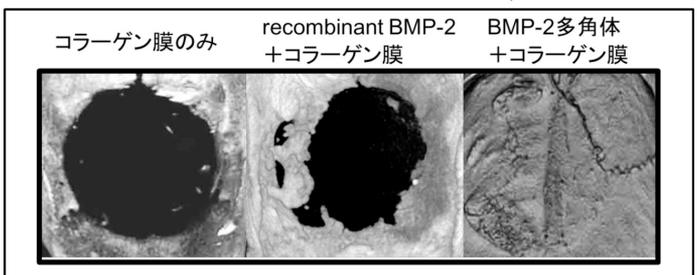
原著論文: Bone regeneration by polyhedral microcrystals from silkworm virus.

Goichi Matsumoto, Takayo Ueda, Junko Shimoyama, Hiroshi Ijiri, Yasushi Omi, Hisato Yube, Yoshihiko Sugita, Katsutoshi Kubo, Hatsuhiko Maeda, Yukihiro Kinoshita, Duverney Gaviria Arias, Junji Shimabukuro, Eiji Kotani, Shin Kawamata & Hajime Mori

Scientific Reports, 2 Article number: 935 doi:10.1038/srep00935



ラット頭頂骨々々欠損の再生治療(治療15週間後のμCT写真)



## 横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター

平成24年度より文部科学省戦略的基盤形成支援事業に採択され、3か年の計画で災害医療歯科学の確立を目指し、地域貢献することを目的として様々な取り組みを行っています。その1つとして、学内外の講師に依頼をして、災害関連について講演会を企画しています。平成24年度は3回行いました。第1回は「横須賀市防災計画の概要と被害想定」というテーマで地域防災計画について、横須賀市危機管理課小貫和昭課長にご講演いただきました。大変わかりやすく、横須賀市の災害時の対応について貴重な内容をご教示

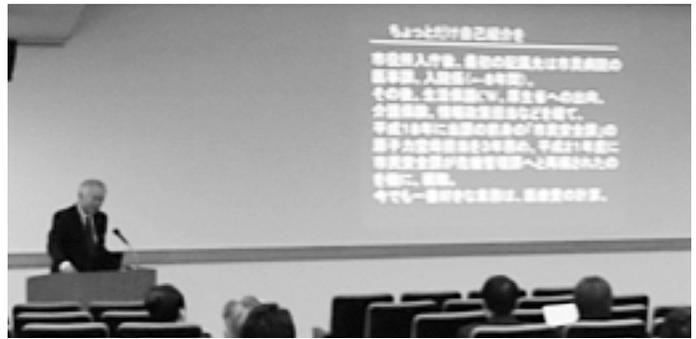
頂きました。また地域と大学の連携は災害時に極めて重要であり、顔の見える関係作りの第1歩となりました。

第2回は「東日本大震災における奥羽大学の取り組み—身元不明遺体の検死活動を中心に—」というテーマで奥羽大学歯学部成長発育歯学講座板橋仁先生にご講演いただきました。板橋先生は、奥羽大学自身も被災しているながら、身元鑑定の現場に派遣され、活動された内容について詳細にご報告いただきました。また、この講演を機会に学内での身元鑑定講習会を行い、災害時に派遣できる体制作りが重要

であることが分かりました。

第3回は「Use of EPR dosimetry for field deployable triage for a large radiation event」というテーマでダートマス医科大学ハロルド・M・シュワルツ教授に、歯からの放射能測定の実況についてご報告いただきました。

3回の平均参加者数は72人であり、教員の関心度も高く、災害時に歯科医師としてどのように対応すべきか学ぶ機会となりました。平成25年度は、市民あるいは歯科医師会の先生方と一緒に学べるテーマやより実践的な講習会なども企画している予定となっています。



第1回講演会

## 大規模災害に備えた身元確認法、IDデンチャーの導入について

平成23年3月11日の東日本大震災では、多くの身元不明者がでて、未だに身元を確認されていない方が多数おられます。被災直後であれば、顔貌や所持品などから身元の確認ができる可能性が高いのですが、時間の経過とともに身元確認は困難になっていきます。困難な場合には、歯科的特徴を利用した確認法が極めて重要になります。そ

の1つに義歯に患者情報を彫刻したり、埋め込んだりする義歯刻印法があります。

災害時に備え神奈川歯科大学附属病院では、独自に考案したIDデンチャー（刻印義歯）の装着を患者様にお勧めしていく予定です。方法は神奈川歯科大学附属病院で新しく義歯を作製する場合、あらかじめ患者様の個人情報（氏名、住所、生年月

日）をQRコードに変換し、それを義歯の外観に目立たない部分に埋め込みます。

義歯に埋入されたQRコードは、特殊な装置は不要で、携帯の写真撮影の要領で誰でも、どこでも、瞬時に読み込むことが可能で、多くの携帯の機種で読み込むことが可

能です。今後、IDデンチャーを広く普及させていきたいと考えます。



## 講演会のお知らせ

平成25年6月7日（金）～9日（日）に、医学生物学電子顕微鏡技術学会 第29回学術講演会・総会（会長：高橋常男）を本学講堂を使用して開催されます。本学会は電子顕微鏡およびその周辺機器などを用いた細

胞生物学的、画像技術的研究発表が中心ですが、プログラムの中に「歯科医学・医療の明るい未来」を展望するテーマを盛り込みました。諸先生のご来場を心からお待ちしております。学内からは渡辺清子先生（微生物

学）、岡田周策先生（保存修復学）、大橋桂先生（保存修復学分）、そして中村澄夫名誉教授らのご尽力をいただいております。

特別講演Ⅱ：6月9日（日）11：10～12：10（60分）「iPS細胞の骨生物学への応用と歯科臨床への展望」

江草宏先生（大阪大学大学院歯学研究科補綴学第一教室）

市民公開講演会：6月9日（日）14：10～15：10（60分）「あごの骨と軟骨の再生医療—歯科の明るい未来—」

高戸毅先生（東京大学医学部附属病院顎口腔外科・歯科矯正歯科教授）

## 横須賀中央エリアの活性化に ～法人が100万円の寄附～

横須賀市が進める新港埠頭エリアの活性化促進のため、昨年12月21日（金）鹿島理事長・菅原総務部長らが横須賀市役所を訪れ、吉田雄人市長に100万円を手渡しました。寄附金は、新港エリアと中央駅を循環するバスの整備事業費に充てられるとの事です。

新港埠頭エリアは地元のおいしいものを集めた旬産旬消の「よこすかポートマーケット」や、裁判所・救急病院・警察署などの「官公庁」が集約され、中央エリアの更なる賑わいが生まれることが期待されております。

この寄附に対し、新たなまちづくりに大きく貢献されたとし、

市長より鹿島理事長に感謝状が手渡されました。

— 昨年の大規模災害時に帰宅困難者を迎え入れる「防災協定」の締結からリニューアルした学食や施設の一般開放など、地域密着を強く打ち出す法人の姿勢は「地域に認められてこそ」という、理事長の方針に沿ったも

ので、今後も積極的な地域貢献を展開してまいります。



鹿島勇理事長、吉田雄人市長

## 「横須賀中央・三笠循環バス」運行決定！

平成25年3月13日（水）オープンのヨコスカポートマーケットを結ぶ「横須賀中央・三笠循環バス」の運行が、3月15日（金）から開始されました。

運行ルートは、横須賀中央駅より、大滝町～三笠公園～ポートマーケットなどを循環し、京浜急行バス（株）が運行事業者となります。運賃は170円均一

で、9:45～17時の間、概ね15分間隔で1日22本運行します。

なお、今回の運行に伴い、本学正門付近に「神奈川歯科大学付属病院前」としてバス停が設置されました。

これにより、中央駅からの利便性が飛躍的に向上することを大きなチャンスと捉え、法人では様々な施策を講じてまいりま

す。特に附属病院への来院数増加に力点を置いてまいります。

また、市の重要課題である「横須賀中央エリアの経済活性化」への一翼を担うよう、法人として全面的に協力してまいります。



## 横須賀警察署長から感謝状授与

平成25年3月18日（月）、横須賀警察署長松川敬様より、本法医学山田良広教授および特別顧問源川良治氏に感謝状が授与されました。今回の感謝状は横須賀市内における身元確認等の貢献によるものです。本学のDNA鑑定の技術は神奈川県内外より注目されており、多く

の鑑定依頼を受けられています。

また特別顧問の源川良治氏は、学内の安全管理及び学生の生活指導、病院の渉外を担当されています。今回の感謝状は、横須賀警察署からの協力要請等の担当として貢献されたことによるものです。



左から山田良広教授、松川敬警察署長、源川良治特別顧問

## 女性のための横須賀カレーのご案内

美味しいカレーは世の中にたくさん存在します。当商品は、美味しいのは勿論のこと、美容と健康に効果が大きいといわれているコラーゲンをたっぷり含んでいます。このコラーゲンは普通のコラーゲンではなく、ペプチド化し、吸収しやすい形に

しました。さらに、神奈川歯科大学ベンチャーであるバイオリジカル研究所で、体がさびる原因である、活性酸素を消す働きをもつことが確認されています。このカレーにはコラーゲンだけではなく、豆としてイソフラボン、カレーの成分として

ターメリックなど、活性酸素を消す成分がたっぷり含まれています。そして、さらに女性がとくに求めるカロリーオフを実現しました。このカレーのレシピを考えられた女性学が専門の田島みわ先生の女性のためのカレーを作りたいという思いと共同開発をした神奈川歯科大学の地が横須賀でありますので、こ

れまでの横須賀カレーにはない、女性のための横須賀カレーとして開発されたというわけです。カレーを食べて、体がさびる活性酸素を減らして、美肌効果を実現させましょう。学食で近日中に販売する予定なので是非ご賞味ください。

# 教学部だより

## 歯学部



教学部教務担当部長  
菅谷 彰

### 「教学部長あいさつ～新年度に向けて」

本学の現状は、入学者の確保と、その入学希望者数を支えるであろう国家試験の合格率の向

上、さらにその合格率向上に向けての教育の質の向上が求められています。本学では教育改善を目指し平成22年度からは大学内LANに接続したPCとeラーニングソフト導入しています。このシステムは自宅からのアクセスも可能である為、事前学習項目を課題として行わせるなど自己学習を啓発するなどの効果も期待されました。また臨床で最も重要となる問題解決能力の向上のための、PBL、TBLといった学習方法を導入しています。そして平成25年度からは、さらなる改革を進めるべく

新たな教育プログラムが開始されます。まずカリキュラムに関しては、各科目の学習を短期間に集中することで学習効果を高める新たな履修制度を導入します。また科目間の関連性の理解を深める為にテーマを絞った統合的な科目を新設します。講義には双方向性の授業を基本とするクリッカーを使用し、学生の理解度を把握しながら進行できる講義を目指します。また理解できなかった講義についても随時、再履修できる新たなコンピューターシステムを導入し学習効果を向上させます。これは講義内容のスライドに音声を取り込んだもので、必要があれば

何度でも視聴することが可能です。これらの改革は、賛否はあるものの学習者側の見地に立ったもので、より効果的な学習環境を提供するものと考えています。さらに歯科医学教育の集大成ともいえる臨床実習の期間を概ね2年間に延長したことは、臨床座学の工夫と共に歯科医師としての知識、技術、そして態度教育の一層の充実が期待されます。

このような様々な教育改革の取組みが奏功し、国家試験の合格率の向上につながると共に、社会が求める歯科医師の育成に貢献できることを期待します。

## 短期大学部



教学部教務担当部長  
藤野富久江

### 社会に貢献できる医療人の育成

今年は構内が桜色に包まれたのもつかの間で、今ではジャカラダのフェルメールブルーを待つ頃となりました。

看護学科では5倍の入学競争倍率を示し、歯科衛生学科とも意欲ある優秀な学生さんを迎えることが出来ました。学生生活を有意義に過ごしていただくためにも、教職員は一丸となってサポート体制を整えています。

歯科衛生学科では5年連続で国家試験合格率100%でありました。また、就職は両学科17倍、18倍の求人倍率でした。しかしながら、真の評価は就職してからであり、教員の教育力が問われるのは活きた教育がどれだけ社会に還元できるかでありました。

本学の教育理念は「専門の知識と技術をもとに自ら行動し、その能力を社会に貢献できる人材を育成する」とあります。思いやりやコミュニケーション能力に加え、能動的に行動できる医療人を育成する為に卒業生、臨床現場からのご意見をもとに更に教育の改善を図る所存です。

### ～海外研修～

平成24年12月21日～28日、海外事情I 第23回ヨーロッパ研修がパリで行われました。ここ数年に比べ申し込み者は多く看護学科、歯科衛生学科あわせて53名が参加し予定通りの日程をこなし、全員無事に帰国しました。現地ではルイ14世所縁のヴェルサイユ宮殿、フランスカトリックの総本山とされるノートルダム寺院、モナリザなど多くの美術品が展示されるルーブル美術館、世界遺産のモンサンミッシェル、

フランス軍衛生部博物館、凱旋門、エッフェル塔などで研修が行われました。

また、この時期シャンゼリゼ通りは美しいイルミネーションで装飾され、各地から集まった数々の出店が軒を並べ多くの人々が訪れ、本場のクリスマスを味わう事が出来ました。

自由時間には、中心街オペラで片言の英語を使ってショッピングや食事を楽しみ、凱旋門では中の装飾や頂上から見た歴史の漂う町並みに感動し、ユーロディズニーを訪問し日本との違いを堪能し、免税店で為替について認識するなどの体験を通じ外国に対する理解を深め、有意義な研修となりました。



モンサンミッシェル

## OPEN CAMPUS 2013

### ■ 歯学部

5/19(日)	6/23(日)	7/21(日)
8/4(日)	8/29(木)	9/29(日)
10/12(土)	10/13(日)	11/17(日)
H26.3/16(日)		

▶各回とも13:00～16:00  
(10/12,13のみ12:00～15:00)

#### ▶主な内容

- 大学・入試説明
- 体験授業(講義・実習)
- 学食体験(横須賀海軍カレー)
- 施設見学(附属病院、実習棟、教室棟、解剖実習室など)
- 個別相談
- 先輩と話そうコーナー など

### ■ 短期大学部

5/12(日)	6/23(日)	7/14(日)
7/28(日)	8/4(日)	8/22(木)
9/22(日)	10/12(土)	10/13(日)
11/10(日)	H26.2/16(日)	3/23(日)

▶各回とも13:00～16:00  
(10/12,13のみ12:00～15:00)

#### ▶予約不要

#### ▶主な内容

- 大学・学科・入試説明
- 体験授業
- 学内見学
- 個別相談
- 先輩と話そうコーナー など

#### ▶対策講座

AO入試対策講座や推薦入試対策講座、保護者説明会を行っています。開催日は本学ホームページでご確認ください。

お問い合わせ

### 神奈川歯科大学

〒238-8580  
神奈川県横須賀市稲岡町82  
(教学部) TEL: 046-822-9580  
FAX: 046-822-8712

### 神奈川歯科大学短期大学部

〒238-8580  
神奈川県横須賀市稲岡町82  
(教学部) TEL: 046-822-8780  
FAX: 046-822-9499

URL: <http://www.kdu.ac.jp>

平成25年4月より、湘南短期大学は「神奈川歯科大学短期大学部」に校名変更いたしました。